

社会貢献活動

社会貢献活動の取組方針

当社は、「社会貢献活動の取組方針」を制定し、「健康・福祉」「生活環

境」「教育・調査」「地域社会貢献」「芸術・文化」「スポーツ」の6つの分野で、

社会の一員として、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

健康・福祉

保健文化賞

本賞は、わが国の保健衛生の向上に取り組む人々に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設されました。厚生労働省ほかの後援のもと実施しており、2011年で63回目を迎える当社において最も長い歴史を持つ社会貢献活動です。毎年秋に贈呈式を

行い(①)、受賞者は天皇・皇后両陛下に拝謁を賜っています。現在では、海外での医療活動、生活習慣病対策等、時代の変化に伴い幅広い課題に対する取り組みを顕彰しています。

財団法人心臓血管研究所

循環器疾患の医学的研究を行い、予防・診断・治療に資することを目的

に、研究成果発表による治療成績向上に寄与しているほか、併設の付属病院では高度で先進的な専門医療を提供しています。また、2011年2月には港区西麻布へ新築移転し、最新医療設備導入等でさらなる医療の質とサービスの向上を目指しています。今後も循環器疾患の臨床医学発展に積極的に貢献していきます。

生活環境

緑の環境デザイン賞

本賞は、全国の市民団体・公共団体等から公募した都市部の緑化プランに対して資金を助成する顕彰制度として1990年に創設されました。

2009年度より都市の環境共生に必要な緑地機能を評価基準に加え、地域におけるヒートアイランド化の緩和や生物多様性保全に効果のある緑化プランを積極的に支援しています(②)。

教育・調査

「ライフサイクルゲーム」による金融教育支援

財団法人消費者教育支援センターの「第4回消費者教育教材資料表彰」の「実験実習部門」で優秀賞を受賞した「ライフサイクルゲーム」を活用し、日本消費者教育学会等と連携した金融教育支援を行っています。このゲームは、生命保険をはじめとする金融商品や契約に関する知識が学べるよう

に工夫されたゲーム教材として各方面からご好評をいただいています(③)。

教職員・高校生インターンシップ

財団法人経済広報センター主催の「教員の民間企業研修」への参画や、職業観・勤労観の早期育成等を目的とした高校生インターンシップの受け入れを行っています。これらの取り組みを通じ、明日の日本を担う子どもたちの育成・教育の支援を行っています。

① 第62回 保健文化賞贈呈式



② 「国土交通大臣賞」受賞 「駒岡小学校(札幌市)」



③ 日本消費者教育学会による 学生セミナー



地域社会貢献

全国職員によるボランティア活動

地域社会の一員として、全国各地の職員がグループで清掃活動、チャリティバザー、募金活動等、自発的な地域社会貢献活動に取り組んでいます(①)。活動を支援・推進するため、これまでの「マッチングギフト制度」*に加えて、2010年度より、活動参加人数に応じて会社が一定額を拠出

し、環境保護団体へ寄付をする「アクションギフト制度」を導入し、全社で4,840名の参加となりました。

また東日本大震災の被災地支援ボランティアに積極的に参加しています(②)。

骨髄バンクドナー登録の推進

生命保険業を営む当社は、相互扶助の精神「一人は万人のため、万人は

一人のため」のもと、骨髄移植希望者に少しでもその機会が増えるよう、2010年度より骨髄バンクドナー登録を推進しており、初年度で200名以上の職員が登録しました。骨髄等を提供する際に要する相当期間を特別有給休暇とする「ドナー休暇制度」も設け、取り組みを後押ししています。

* 募金額やバザーの売上額等を各団体へ寄付する際、会社が一定額を上乗せする制度

芸術・文化

VOCA展・第一生命ギャラリー

平面美術の領域における若手作家の育成・支援を目的に開催されている「VOCA展」に第1回(1994年)より協賛しています(③)。近年では若手作家の登竜門として高く評価されています。当社は協賛に加え、優秀作品を所蔵し、日比谷本社ロビーや第一生命ギャラリーで定期的に作品を公開しています。さらに、同ギャラリーにて受賞作家の個展を開催し、受賞

後の制作活動を発表する場を提供することで継続した支援を行っています。こうした活動が評価され、2000年に「メセナ大賞」*を受賞しました。

NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク(TAN)

1989年、第一生命館の保存・改築に伴い37年間にわたる活動を休止した第一生命ホールは、2001年、東京・晴海に再興され、TANが自主企画公演を実施しています。TANは、

ホールでの公演のほか日ごるホールに来場できない学校や福祉施設の方々に対して良質な音楽を届ける「アウトリーチ活動」を実施しています。当社はTANへの支援を通じて「地域に密着した芸術活動」の実現を目指しています。

こうした活動が評価され、当社は2009年に2度目となる「メセナ大賞」*を受賞しました。

* 公益社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナワード」において、芸術文化振興に最も高く貢献したメセナ活動を顕彰する賞

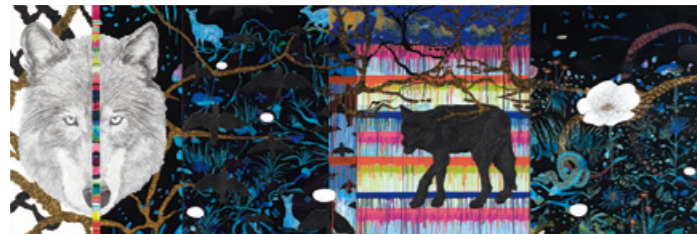
① 植林活動(中京総合支社)



② 被災地支援ボランティア(岩手)



③ VOCA展2011 VOCA賞「或る感星」(作 中山 玲佳)



サラリーマン川柳コンクール

“サラ川(サラセン)”の愛称で親しまれている「サラリーマン川柳コンクール」を1987年から毎年実施しています。

職場やご家庭などの日常生活の中で日ごる感じている“喜怒哀楽”を、5・7・5の川柳にご応募いただき、応募作品から当社で全国優秀100作品を選出。その後お客さまの投票によりベスト10を決定します。

入選作は例年マスコミでも取り上げられ、世相を映すユーモラスな「鏡」として話題を振りまっています。



スポーツ

女子陸上競技部

1990年に女子陸上競技部を創設以来、選手の育成に注力してきました。これまでに、2009年の世界陸上女子マラソンでの尾崎好美選手の銀メダル獲得、2010年の東日本実

業団女子駅伝優勝など、多くの大会で好成績を収めています。

また、2011年8月に行われる世界陸上女子マラソンの代表に、尾崎好美、野尻あずさの2選手が選出されるなど、日本陸上中・長距離界を牽引しています(④)。

④ 左：尾崎 好美 右：野尻 あずさ



国際的な社会貢献活動

財団法人国際保険振興会(FALIA)

生命保険事業の発展に寄与することを目的に、国内外で保険事業関係

者を招いた研修等を開催し、2011年3月末時点で国内研修の参加者は累計3,260名、海外セミナーは152回開催し、参加者は5,000名以上となっ

ています。また、2010年11月にはウズベキスタン共和国の保険市場の健全な発展に貢献したとして、「ゴールデンアンブレラ賞」を授与されました。

人権の尊重

人権啓発の取り組み

人権問題に対して正しい理解と認識を持ち、あらゆる場において常に相手を思いやる心を持って行動できる職員の育成に努めています。

1986年に「第一生命の人権宣言(人権宣言3本の柱)」を制定しました。また、役職員の「行動規範」に人権にかかわる内容を記載し、職員の人権意識の向上に努めています。

人権啓発推進体制

本社に役員・部長・課長で構成する人権啓発推進本部を置くとともに、すべての部・支社に人権啓発委員を配置し、人権啓発を推進しています。

人権啓発研修

人権問題を正しく理解し認識を深めて、日常の活動につなげていくため

には、地道な研修の繰り返しが重要であるとの認識のもと、人権啓発に取り組んでいます。

2010年度は、所属別研修(全職員対象)をはじめ、諸人権研修において、「同和問題」「障がい者理解」「ハラスメント防止」を中心に研修を実施しました。また、管理職人権啓発研修では、西光寺副住職 清原隆宣氏に「同和問題～人の世に光と熱を」をテーマに講演していただきました(⑤)。

社外活動

当社は「東京人権啓発企業連絡会」に加盟するとともに、行政・諸団体が開催する研修会等に積極的に参加し、社内の人権啓発の取り組みに役立てています。

セクハラ・パワハラ防止

全職員対象の「所属別人権研修」および諸人権研修においてセクハラ・パワハラ防止研修を実施し、未然防止に努めています。また、全役職員携帯ファイル「ビジョン&ルール」や各種マニュアルに、セクハラ・パワハラの防止取組および相談受付窓口を掲載し、周知を図っています。

⑤ 管理職人権啓発研修
西光寺副住職 清原 隆宣氏

